

## 平成20年(2008年)岩手・宮城内陸地震について(第42報)

### 1. 本省及び地方支分部局の体制について

国土交通本省	6月14日	8:43	非常体制				
		10:20	国土交通省非常災害対策本部設置				
	7月22日	17:30	国土交通省非常災害対策本部廃止				
		17:30	警戒体制				
	7月24日	0:26	非常体制				
			(岩手県沿岸北部を震源とする地震に関するもの)				
	8月7日	17:00	警戒体制				
	8月19日	9:15	非常体制				
		18:00	警戒体制				
		8月24日	16:00	非常体制			
	8月26日	9:50	警戒体制				
国土地理院	6月14日	8:43	非常体制				
		8:47	国土地理院災害対策本部設置				
	7月23日	9:00	国土地理院災害対策本部廃止				
		9:00	注意体制				
気象庁	6月14日	8:43	非常体制				
		8:43	気象庁災害対策本部設置				
	7月10日	17:00	警戒体制				
		17:00	気象庁災害対策本部廃止				
	7月22日	17:30	体制解除				
海上保安庁	6月14日	8:50	海上保安庁地震災害対策本部設置				
	7月4日	17:00	海上保安庁地震災害対策本部廃止				
				北海道運輸局	6月14日	9:00	注意体制
					6月15日	9:00	体制解除
東北地方整備局	6月14日	8:43	非常体制	東北運輸局	6月14日	8:43	非常体制
	7月22日	17:00	警戒体制		7月14日	18:00	注意体制
	7月24日	10:00	非常体制		9月16日	15:00	体制解除
	8月7日	17:00	警戒体制				
	8月19日	9:15	非常体制				
		18:00	警戒体制				
	8月21日	16:15	非常体制				
		23:05	警戒体制				
	8月24日	14:15	非常体制				
	8月26日	9:50	警戒体制				
	10月24日	13:10	非常体制				
11月20日	10:00	警戒体制					
関東地方整備局	6月14日	8:43	注意体制	関東運輸局	6月14日	8:43	注意体制
		16:05	体制解除		6月16日	9:00	体制解除

北陸地方整備局	6月14日	8:43 12:38	注意体制 体制解除	北陸信越運輸局	6月14日 6月14日	8:43 14:00	注意体制 体制解除
仙台管区气象台	6月14日 7月23日	8:43 14:00	非常体制 警戒体制				

## 2. 地震の概要

- 発生日時 平成20年6月14日 8時43分
- 気象庁は平成20年(2008年)岩手・宮城内陸地震と命名
- 震源地 岩手県内陸南部(北緯39度01.7分、東経140度52.8分)
- 緊急地震速報の発表状況  
8:43:55 緊急地震速報(警報)(第1報)を発表(最大予測震度5強) 地震を検知後約4秒
- 震源の深さは8km、地震の規模(マグニチュード)は7.2
- 各地の震度(震度5強以上)

震度6強	岩手県 宮城県	奥州市衣川区 栗原市一迫			
震度6弱	岩手県 宮城県	奥州市胆沢区 栗原市栗駒 栗原市鶯沢 栗原市花山 大崎市古川北町	栗原市築館 栗原市金成 大崎市古川三日町 大崎市田尻	栗原市高清水 栗原市志波姫 大崎市鳴子	
震度5強	岩手県  宮城県  秋田県	北上市二子町 平泉町平泉 奥州市前沢区 宮城加美町中新田 登米市迫町 宮城美里町木間塚 名取市増田 利府町利府 湯沢市川連町	一関市山目 奥州市水沢区大鐘町  涌谷町新町 登米市南方町 大崎市松山 仙台宮城野区苦竹 東成瀬村椿川	金ヶ崎町西根 奥州市江刺区  栗原市若柳 宮城美里町北浦 大崎市岩出山 仙台若林区遠見塚 東成瀬村田子内	

### ○津波情報

この地震による津波の心配はありません。

### ○余震の状況(11月18日をもって更新を終了)

震度5弱 1回(14日9時20分) 震度4 10回 震度3以下 615回

### ○地殻変動

秋田県湯沢市で東南東方向へ約29cm、岩手県平泉町で西北西へ約15cmの水平変動を検出。  
震央に近い電子基準点で約2.1mの隆起と約1.5mの水平変動を検出。  
人工衛星データを用いて地震による地形変動を面的に把握

## 3. 政府の対応

- 6月14日8:50官邸対策室設置、緊急参集チーム招集(河川局長出席)
- 6月14日政府調査団(団長:防災担当大臣)を現地へ派遣(国土交通省より松島副大臣派遣)
- 6月14日20:00第1回災害対策関係省庁連絡会議開催(防災課長出席)
- 6月15日9:00緊急参集チーム招集(河川局長出席)
- 6月15日12:30緊急参集チーム招集(河川局長出席)
- 6月15日14:00第2回災害対策関係省庁連絡会議開催(防災課長出席)
- 6月16日9:30緊急参集チーム招集(河川局長出席)
- 6月16日11:20関係閣僚会合開催(国土交通大臣出席)
- 6月16日20:00第3回災害対策関係省庁連絡会議開催(防災課長、保全課長出席)
- 6月17日19:00第4回災害対策関係省庁連絡会議開催(防災課長、保全調整官、道路・防災対策室長出席)
- 6月18日8:00～総理大臣が被災地を視察

- 6月18日17:00第5回災害対策関係省庁連絡会議開催(防災課長、砂防計画課課長補佐出席)
- 6月19日18:00第6回災害対策関係省庁連絡会議開催(防災課長、砂防計画調整官出席)
- 6月20日18:00第7回災害対策関係省庁連絡会議開催(防災課長、砂防計画課課長補佐出席)
- 6月23日18:00第8回災害対策関係省庁連絡会議開催(防災課長、砂防計画課課長補佐出席)
- 6月26日18:00第9回災害対策関係省庁連絡会議開催(防災課長、保全課企画専門官出席)
- 7月10日16:00復旧・復興対策に関する関係省庁会議開催(防災課長、技術安全課安全防災対策官、保全課企画専門官出席)
- 7月14日20:00官邸対策室閉鎖

#### 4. 国土交通省の対応

- 6月14日8:43国土交通省非常体制
- 6月14日10:00緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)先遣班(ヘリ調査)派遣
- 6月14日10:20国土交通省非常災害対策本部設置
- 6月14日10:30第1回国土交通省情報連絡会議開催
- 6月14日13:00第1回国土交通省非常災害対策本部会議開催
- 6月14日14:10緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)先遣班(国土交通省緊急調査団)派遣
- 6月14日17:00第1回非常災害対策本部連絡調整会議開催
- 6月15日9:00～17:15国土交通大臣現地視察、17:35総理報告
- 6月15日12:30第2回非常災害対策本部連絡調整会議、松島国土交通副大臣による現地視察の状況説明
- 6月15日18:00第2回国土交通省非常災害対策本部会議開催
- 6月16日9:00～16:30平井国土交通副大臣現地視察
- 6月17日10:30～観光復興活動支援等のため東北運輸局に復興対策本部を設置
- 6月17日16:00第3回非常災害対策本部連絡調整会議、平井国土交通副大臣による現地視察の状況説明
- 6月20日17:30第3回国土交通省非常災害対策本部会議開催
- 6月27日9:00～18:30金子国土交通大臣政務官・山本国土交通大臣政務官現地視察
- 6月30日国土交通大臣現地視察
- 7月7日谷国土交通大臣政務官現地視察
- 7月22日17:00第4回国土交通省非常災害対策本部会議開催
- 7月22日17:30国土交通省非常災害対策本部廃止
- 緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)を派遣(14日～)。詳細は別紙のとおり。
- 国土地理院は内閣府等関係機関に地図画像、地図、空中写真及び正射写真図を送付
- 国土交通本省、東北地方整備局、国土地理院、気象庁は政府現地連絡対策室に職員を派遣
- 国土交通省として引き続き被害情報の収集・把握に努める

##### 1) 災害対策用ヘリコプター(平成20年7月30日11:30現在)

ヘリコプター名	これまでの出動状況
みちのく	6/14 岩手県、宮城県 6/15 岩手県、宮城県 6/16 岩手県、宮城県 6/17 岩手県、宮城県 6/18 岩手県、宮城県 6/20 岩手県、宮城県 6/21 宮城県、6/24 岩手県、宮城県 6/25 岩手県、宮城県、6/26 岩手県、宮城県 6/27 岩手県、宮城県、6/28 岩手県、宮城県、 6/30 岩手県、宮城県、7/1 岩手県、宮城県 7/3 岩手県、7/9 岩手県、宮城県 7/12 岩手県、宮城県、7/17 岩手県、宮城県 7/19 岩手県、7/25 岩手県、宮城県 7/28 岩手県、宮城県 7/29 岩手県、宮城県
あおぞら	6/14 岩手県、宮城県 6/15 大臣現地視察 6/16 副大臣現地視察
ほくりく	6/14 岩手県、宮城県 6/15 岩手県、宮城県 6/19 岩手県、6/21 宮城県 6/23 岩手県、宮城県 7/15 岩手県、宮城県、7/19 岩手県、宮城県 7/25 岩手県、宮城県

まんなか	6/14 移動 6/15 岩手県、宮城県 6/16 宮城県 6/17 宮城県、7/2 岩手県、宮城県 7/5 岩手県、宮城県 7/10 宮城県
ほっかい	6/27 岩手県、宮城県、6/28 岩手県、宮城県 6/30 岩手県、宮城県、7/1 宮城県

2) 災害対策用機械出動状況 (平成21年5月22日18:30現在)

所有整備局	機械名	台数	事象	出動先	
				場所	期間
東北地整	衛星通信車	1	現地状況通信	岩手県奥州市	6/14~18
東北地整	衛星通信車	1	現地状況通信	岩手県奥州市	6/14~15
東北地整	衛星通信車	1	現地状況通信	宮城県栗原市	6/15~22
東北地整	衛星通信車	1	現地状況通信	宮城県栗原市	6/19~25
東北地整	衛星通信車	1	現地状況通信	宮城県栗原市	6/16~27
東北地整	衛星通信車	1	現地状況通信	宮城県栗原市	7/1~7/3
東北地整	Ku-SAT	1	現地状況通信	岩手県奥州市	6/14~17
東北地整	Ku-SAT	1	現地状況通信	岩手県奥州市	6/14~18
東北地整	Ku-SAT	1	現地状況通信	岩手県奥州市	6/14~15
東北地整	Ku-SAT	1	現地状況通信	岩手県一関市	6/15~19
東北地整	Ku-SAT	1	現地状況通信	宮城県栗原市	6/15~28
東北地整	Ku-SAT	1	現地状況通信	宮城県栗原市	6/18~7/1
東北地整	Ku-SAT	1	現地状況通信	宮城県栗原市	6/19~7/2
東北地整	Ku-SAT	1	現地状況通信	岩手県一関市	6/20~7/9
東北地整	Ku-SAT	1	現地状況通信	岩手県一関市	6/19~7/18
東北地整	Ku-SAT	1	現地状況通信	宮城県栗原市	7/2~7/18
東北地整	Ku-SAT	1	現地状況通信	岩手県一関市	6/17~12/25
東北地整	Ku-SAT	1	現地状況通信	岩手県一関市	6/19~12/25
東北地整	Ku-SAT	1	現地状況通信	岩手県一関市	6/19~12/25
東北地整	Ku-SAT	1	現地状況通信	宮城県栗原市	6/20~8/1
東北地整	Ku-SAT	1	現地状況通信	岩手県一関市	6/20~12/25
東北地整	Ku-SAT	1	現地状況通信	宮城県栗原市	6/21~9/1
東北地整	Ku-SAT	1	現地状況通信	宮城県栗原市	6/21~
東北地整	Ku-SAT	1	現地状況通信	宮城県栗原市	7/2~7/29
東北地整	Ku-SAT	1	現地状況通信	宮城県栗原市	7/3~9/1
東北地整	Ku-SAT	1	現地状況通信	宮城県栗原市	7/6~11/27
東北地整	Ku-SAT	1	現地状況通信	宮城県栗原市	7/11~11/27
東北地整	Ku-SAT	1	現地状況通信	宮城県栗原市	09/2/10~
東北地整	Ku-SAT	1	現地状況通信	宮城県栗原市	09/5/15~
東北地整	Ku-SAT	1	現地状況通信	宮城県栗原市	09/5/19~
関東地整	遠隔操縦式バックホウ	1	復旧作業支援	宮城県栗原市	6/15~25
北陸地整	遠隔操縦式バックホウ	2	復旧作業支援	岩手県一関市	6/14~11/21
北陸地整	遠隔操縦式バックホウ	1	復旧作業支援	宮城県栗原市	6/15~10/22
東北地整	照明車	1	夜間作業支援	岩手県奥州市	6/14~25
東北地整	照明車	1	夜間作業支援	岩手県奥州市	6/14~17
東北地整	照明車	1	夜間作業支援	岩手県奥州市	6/14~21
東北地整	照明車	3	夜間作業支援	岩手県一関市	6/26~7/18
東北地整	照明車	1	夜間作業支援	宮城県栗原市	6/14~7/3
東北地整	照明車	2	夜間作業支援	宮城県栗原市	6/14~26
関東地整	照明車	3	夜間作業支援	岩手県一関市	6/14~7/18
関東地整	照明車	4	夜間作業支援	岩手県一関市	6/14~29
関東地整	照明車	1	夜間作業支援	宮城県栗原市	6/14~7/18
北陸地整	照明車	1	夜間作業支援	岩手県一関市	6/14~7/8
北陸地整	照明車	4	夜間作業支援	岩手県一関市	6/14~29

東北地整	排水ポンプ	8	復旧作業支援	岩手県一関市	6/16~10/24
東北地整	排水ポンプ車	2	復旧作業支援	岩手県一関市	6/25~27
北陸地整	排水ポンプ車	2	復旧作業支援	岩手県一関市	6/19~8/27
中国地整	排水ポンプ車	1	復旧作業支援	宮城県栗原市	6/20~30
東北地整	対策本部車	1	現地作業支援	宮城県栗原市	6/16~24
東北地整	対策本部車	1	現地作業支援	岩手県一関市	6/23~27
東北地整	土嚢造成機	1	現地作業支援	岩手県一関市	6/16~24
東北地整	土嚢造成機	1	現地作業支援	岩手県一関市	6/26~7/16
東北地整	待機支援車	1	現地作業支援	宮城県栗原市	6/14~7/15
東北地整	待機支援車	1	現地作業支援	宮城県栗原市	6/14~7/3
東北地整	待機支援車	1	現地作業支援	岩手県一関市	6/23~27
東北地整	橋梁点検車	1	橋梁緊急点検	岩手県奥州市	6/14~17
東北地整	橋梁点検車	1	橋梁緊急点検	岩手県一関市	6/14~21
東北地整	橋梁点検車	1	橋梁緊急点検	宮城県栗原市	6/14
東北地整	情報収集車	1	災害復旧支援	宮城県栗原市	6/21~7/24
東北地整	応急組立橋	1	災害復旧支援	岩手県一関市	7/4~
東北地整	散水車	2	給水支援	宮城県栗原市	6/16~17

機械名	出動台数 (延べ台数)	備考
衛星通信車	3	
Ku-SAT	17	
照明車	22	内22台撤収済
排水ポンプ	8	内8基撤収済
排水ポンプ車	5	内5台撤収済
遠隔操縦式バックホウ	4	内4台撤収済
待機支援車	3	内3台撤収済
対策本部車	2	内2台撤収済
土嚢造成機	2	内2台撤収済
橋梁点検車	3	内3台撤収済
情報収集車	1	内1台撤収済
応急組立橋	1	
散水車	2	内2台撤収済
合計	73	

### 3) 緊急輸送支援対応 (平成20年7月30日11:30現在)

○6月14日東北運輸局は岩手県トラック協会、宮城県トラック協会に対し、県等から緊急物資輸送関連の要請があった場合には、速やかに対応できるよう指示した。

○6月14日東北運輸局から岩手県災害対策本部へ首席運輸企画専門官を緊急輸送の調整のため派遣。

○6月15日東北運輸局から岩手県災害対策本部へ2名、宮城県災害対策本部へ2名緊急輸送の調整のため派遣。

○6月16日東北運輸局から岩手県災害対策本部へ1名、宮城県災害対策本部へ2名緊急輸送の調整のため派遣。

○6月17日東北運輸局から岩手県災害対策本部へ1名、宮城県災害対策本部へ1名緊急輸送の調整のため派遣。

○6月18日東北運輸局から岩手県災害対策本部へ2名、宮城県災害対策本部へ2名緊急輸送の調整のため派遣。

○6月19日東北運輸局から岩手県災害対策本部へ2名、宮城県災害対策本部へ2名緊急輸送の調整のため派遣。

○6月20日東北運輸局から岩手県災害対策本部へ1名、宮城県災害対策本部へ1名緊急輸送の調整のため派遣。

○6月21日東北運輸局から宮城県災害対策本部へ1名緊急輸送の調整のため派遣。

○6月22日東北運輸局から宮城県災害対策本部へ1名緊急輸送の調整のため派遣。

## 5. 気象庁の対応

○6月14日8:43気象庁災害対策本部設置。

○TEC-FORCE(地震機動観測班)を派遣(本庁、仙台管区気象台、盛岡地方気象台、秋田地方気象台より派遣)各班は、それぞれ震度6弱または5強以上を観測した震度計が、余震を正常に観測し続けることができるかの確認と周辺の被害状況の調査を実施した。

○TEC-FORCE(気象・地象情報提供班)を派遣(仙台管区気象台、盛岡地方気象台、秋田地方気象台より派遣)各班は、宮城県、岩手県、秋田県の災害対策本部会議にて、被災地の詳細な気象状況および地震の状況についての情報提供を実施した。

○6月16日20時 宮城県が設置した栗原市一迫の震度計については、設置台と地面との間に僅かな隙間が見られたため、今後の震度観測の万全を期すため、臨時に震度計を設置し、観測を実施中。

○6月15日10時より、地震による地盤の緩みを考慮し、岩手県、宮城県、秋田県の震度の大きかった市町村の大雨警報・注意報の発表基準を、通常基準より引き下げた暫定基準を設けて運用。

同様に、県砂防部局と共同で発表している土砂災害警戒情報の発表基準についても、暫定基準を設けて運用。

○被災地向けの詳細な気象・地震情報を提供中。

気象庁HP「平成20年(2008年)岩手・宮城内陸地震」の特集ページ

([http://www.seisvol.kishou.go.jp/eq/2008\\_06\\_14\\_iwate-miyagi/index.html](http://www.seisvol.kishou.go.jp/eq/2008_06_14_iwate-miyagi/index.html))からも参照可能。

○6月16日 鳴子及び栗駒山の噴気及び火山活動の状況を確認するため、仙台管区気象台は、陸上自衛隊の協力により機上観測を実施し、宮城県災害対策本部において、噴気活動が通常と比べ特段の変化がない旨説明した。

○地震発生以後、停電及び通信不通のため観測が欠測になっているアメダスの駒ノ湯観測所(栗原市栗駒沼倉)の代替として、臨時に栗駒深山観測所(栗原市栗駒文字)を設置し、6月17日17時から観測を開始。祭時観測所(一関市巖美町祭時)の代替として、臨時に巖美観測所(一関市巖美町板川)を設置し、6月19日15時から観測を開始。

○奥州市衣川区の震度計は、7月1日の再調査の結果、設置台と地面との間に僅かな隙間が見られたことから、今後の震度観測の万全を期すため、代替として同一敷地内に臨時に震度計を設置し、7月2日18時から観測を開始。

○地震発生以後、観測不能になっている栗駒山(宮城県栗原市栗駒に設置)の火山監視用の地震計の代替として、臨時に秋田県湯沢市皆瀬に地震計を設置し、7月2日18時から観測を開始。

○平成21年5月12日13時をもって、宮城県栗原市と、大崎市の一部を除いて大雨警報・注意報及び、県砂防部局と共同で発表している土砂災害警戒情報の暫定基準による運用を終了。

## 6. 海上保安庁の対応

○14日の対応

・午前8時50分、海上保安庁に「平成20年(2008年)岩手・宮城内陸地震海上保安庁地震災害対策本部」設置

・午前8時51分、NAVTEXの航行警報実施

・新潟県北部、東北地方主要港湾及び沿岸部の被害状況調査終了(被害を認めず)

・航路標識の点検終了(異状を認めず)

・宮城県及び岩手県からの要請による救助活動(栗原市在ハイルザーム栗駒及び一関市祭時から孤立者計151名救助)

・対応勢力: 巡視船艇5隻、航空機11機、特殊救難隊1隊、機動防除隊1隊

○15日の対応

・宮城県からの要請に基づき、災害犬8頭、要員6名を花山中学校からハイルザーム栗駒まで搬送

・温湯山荘にて、救助要請のあった2名を花山中学校に搬送(15日まで合計153名救助)

・宮城県からの要請に基づき、警察官14名を湯浜温泉から花山中学校まで搬送

・対応勢力: 巡視船2隻、航空機10機、特殊救難隊1隊

○16日の対応

・宮城県からの要請により、栗駒サンスポーツランド及びハイルザーム栗駒間で栗駒市職員9名を搬送

・宮城県からの要請により、県職員3名を同乗しての上空からの被害状況調査対応

・対応勢力: 巡視船2隻、航空機7機

○17日の対応

・対応勢力: 巡視船1隻、航空機6機

○18日から20日の対応

・対応勢力: 巡視船通常業務体制、航空機5機

○20日日没以降の対応: 巡視船及び航空機 通常業務体制(要請等があった場合の即応体制確保)

※14日からの対応勢力(延べ数): 巡視船30隻、航空機49機、特殊救難隊2隊、機動防除隊1隊

7. 人的被害(平成21年5月22日19:30消防庁情報)

(1) 人的被害

①死者 13名 ②行方不明 10名 ③負傷者 426名

※死者

- ・地震に驚き道路に飛び出し、交通事故死したものの(一関市)
- ・胆沢ダム建設工事現場の落石で、救出時CPA状態の傷病者の死亡確認(奥州市)
- ・岩場で釣りをしていたところ、地震の落石で海へ転落したもので、死亡確認(いわき市)
- ・花山地区で治山工事中の作業員が土砂崩れにより生き埋め、3名の死亡確認(栗原市)
- ・湯浜温泉で車両埋没、死亡確認(栗原市)
- ・駒ノ湯温泉で生き埋め、5名の死亡確認(栗原市)
- ・当日の地震により、書籍が崩れ、その中に埋もれることによって生じた呼吸困難、つまり体位性窒息による死亡と判明した。(仙台市)(7月10日19:15宮城県災害復旧対策本部より連絡)

都道府県名	市町村名	人的被害				住家被害			火災		
		死者	行方不明	負傷者		全壊	半壊	一部破損	建物	危険物	その他
				重傷	軽傷						
人	人	人	人	棟	棟	棟	件	件	件		
岩手県	花巻市			1			3				
	北上市						2				
	一関市	1			2	1	2	266			
	奥州市	1		7	25	1	2	468	2		
	金ヶ崎町							25			
	平泉町			1				8			
	藤沢町				1						
	西和賀町							6			
	合計	2		9	28	2	4	778	2		
宮城県	仙台市	1		3	23			10	1		
	石巻市							1			
	塩釜市				1						
	気仙沼市			1							
	名取市			1	29						
	角田市			1							
	登米市			2	7			8			
	栗原市	9	8	28	152	27	128	1,414			
	東松島市				1						
	大崎市			9	72	1	7	287			
	利府町				1						
	色麻町				1						
	加美町			2	5						
	涌谷町				1						
美里町			7	18		6	13				
	合計	10	8	54	311	28	141	1,733	1		
秋田県	秋田市			1	2						
	横手市			2	8			1			
	湯沢市		2	2	5		1	8	1		
	羽後町				1						
	合計		2	5	16		1	9	1		
山形県	山形市							1			
	新庄市			1							
	合計			1				1			
福島県	福島市			1	1						
	いわき市	1									
	合計	1		1	1						
計			13	10	70	356	30	146	2,521	4	

(2)住家被害

①全壊30棟 ②半壊146棟 ③一部破損2,521棟

(3)火災

4件

(4)その他の被害

宮城県:栗原市

【行方不明】

- ・駒ノ湯温泉で生き埋め(7名行方不明)→6月15日3名搬出(死亡確認)→6月16日行方不明4名中1名発見(死亡確認)→6月18日行方不明3名中1名発見(死亡確認)→2名行方不明
- ・花山地区白糸の滝付近のつり橋から老夫婦2名が落下し、行方不明という情報あり
- ・栗駒行者の滝の駐車場付近にて行方不明者1名あり
- ・栗駒公園線柳沢線入口付近で、釣り人1名行方不明
- ・花山地区白糸の滝上流で、釣り人2名行方不明

【孤立】

- ・いわかがみ平60名孤立→新潟県消防防災ヘリ等で60名搬送済み
- ・栗駒耕英地区41世帯100名孤立→ヘリで搬送済み
- ・栗駒耕英地区の山脈ハウス34名孤立(その他自宅に2名)→山脈ハウス3名残留(本人の意思によるもの)→ヘリで搬送済み

【その他】

- ・湯浜温泉で車両3台埋没の目撃情報あり。2台の車両を確認。男性1名、女性1名を救出。車両内には1名(社会死状態→行方不明として計上)いるが6月15日救出予定→死亡確認
- 未発見の3台目の車両は無いと判断し活動終了

岩手県:一関市

【孤立】

- ・須川地区孤立(従業員・客100名程度、駐車場に避難中・負傷者なしの模様)→自力にて秋田県側へ避難済み
- ・祭時(マツルベ)地区100名孤立→98名救出、2名は自宅にて待機→自宅待機2名救出済み
- ・市野々原地区、祭時大橋付近孤立→70名救出(自宅待機2名あり)→自宅待機2名救出→72名全員救出済み
- ・国道342号道路上(真湯地区)にて47名孤立→45名移送済み、2名車内にて待機
- 青森県消防防災ヘリ1名、東京消防庁ヘリ1名救出

岩手県:奥州市

【その他】

- ・石淵ダム付近バス転落→20名全員救出済み(負傷者8名)
- ・油流出26件(ホームタンクの転倒)

岩手県:金ヶ崎町

【その他】

- ・油流出4件(ホームタンクの転倒)

秋田県:湯沢市

【行方不明】

- ・山菜採りに行った山形県在住の夫婦2名が行方不明(家族から秋田県湯沢警察署に届出)

8. 所管施設等の状況

○河川(平成20年6月15日20:00時点)

○点検状況

<国管理河川> 10 水系 15 河川 で点検完了

整備局等	水系	河川	一次点検		二次点検	
			開始時間	終了時間	開始時間	終了時間
東北	北上川	北上川上流	9:07	13:19	14日 10:32	15日 15:45
		北上川下流	9:08	12:05	10:40	17:00
	鳴瀬川	鳴瀬川	9:49	12:43	10:40	17:00
	名取川	名取川	9:44	11:35	10:20	13:55
	雄物川	雄物川上流	9:27	12:03	10:40	13:34
		雄物川下流	9:15	11:49	1次点検で異常が無かったため2次点検省略	
	子吉川	子吉川	9:17	11:57	1次点検で異常が無かったため2次点検省略	
	米代川	米代川	10:08	12:16	1次点検で異常が無かったため2次点検省略	
	阿武隈川	阿武隈川上流	9:00	12:56	1次点検で異常が無かったため2次点検省略	
		阿武隈川下流	9:57	11:53	10:26	13:55
	最上川	最上川上流	9:31	11:34	1次点検で異常が無かったため2次点検省略	
		最上川中流	9:38	12:28	1次点検で異常が無かったため2次点検省略	
		最上川下流	9:26	11:24	1次点検で異常が無かったため2次点検省略	
赤川	赤川	10:01	11:31	1次点検で異常が無かったため2次点検省略		
北陸	荒川	荒川	9:40	11:20	1次点検で異常が無かったため2次点検省略	

<都道府県河川> 7県の河川で点検完了

都道府県	水系	河川	一次点検		二次点検	
			開始時間	終了時間	開始時間	終了時間
青森県	全水系		9:00	14:20	点検終了	
岩手県	全水系		9:00	18:00	点検終了	
宮城県	全水系		14日 9:00	15日 15:00	点検終了	
秋田県	全水系		10:00	16:00	点検終了	
山形県	全水系		9:00	15:30	点検終了	
福島県	全水系		9:00	14:30	点検終了	
新潟県	石川	石川	9:20	11:05	1次点検で異常が無かったため2次点検省略	

○被害状況

<国管理河川>

・被災箇所 7 箇所

被災箇所については、詳細点検の結果治水上の影響のないことを確認。

都道府県	水系	河川	市町村	地点		被害状況		対策状況
				左右岸	KP	状態	数量 (約m)	
宮城県	鳴瀬川	鳴瀬川	大崎市	左岸	13.5k~15.7k	堤防天端舗装部 クラック (3箇所) 深さ10~65mm	天端舗装部(100mm)内の補修で 応急復旧必要なし	
岩手県	北上川	砂鉄川	一関市	左岸	0.4k	・川表側翼壁 開きt=3cm程度 ・階段小口ク ラック 2カ所 ・樋門内部ハ ンチ部 コン クリート剥離 1カ所	ゲート開閉に支障ないことを確認 応急復旧必要なし	
岩手県	北上川	砂鉄川	一関市	左岸	0.8k	川表側翼壁開 き (t=2cm程度)	ゲート開閉に支障ないことを確認 応急復旧必要なし	
岩手県	北上川	砂鉄川	一関市	右岸	4.2k	樋門内部継目 開き	ゲート開閉に支障ないことを確認 応急復旧必要なし	
岩手県	北上川	砂鉄川	一関市	右岸	5.6k	翼壁と階段小 口に開き (t=3cm程度) 樋門内部継目 開き (t=1cm程 度)	ゲート開閉に支障ないことを確認 応急復旧必要なし	

<都道府県管理河川>

・河川管理施設の被害情報なし

○ダム(平成20年7月22日 14時30分現在)

本震(14日8:43発生震度6強・ダム地点最大震度6強)による点検ダム数

	臨時点検ダム数			合計	異常報告確認ダム
	直轄	補助	利水		
臨時点検対象ダム	11	48	75	134	石淵ダム(直轄) 上大沢(補助) 皆瀬(補助)
うち、1次点検終了ダム	11	48	75	134	小田(補助)
うち、2次点検対象ダム	7	31	39	77	荒砥沢ダム(補助)
うち、2次点検終了ダム	7	31	39	77	衣川1号(利水) 等

※直轄、補助、利水の全てのダムで2次点検まで完了。

余震(16日23:14発生震度4・ダム地点最大震度4)による点検ダム数

	臨時点検ダム数			合計	異常報告確認ダム
	直轄	補助	利水		
臨時点検対象ダム	1	5	6	12	前回点検から被害状況に変化はない
うち、1次点検終了ダム	1	5	6	12	
うち、2次点検対象ダム	1	3	1	5	
うち、2次点検終了ダム	1	3	1	5	

※直轄・補助は、二次点検完了。(石淵ダムは自主点検実施し、異常なし)

※利水ダムは、二次点検完了。(二次点検対象外の5ダムについても自主点検を実施し、異常なし)

- 余震(18日18:04発生震度3)により石淵ダム(直轄)1ダムを点検。二次点検完了(異常なし)。
- 余震(22日11:08発生震度2)により栗駒ダム(利水)1ダムを点検(異常なし)。
- 余震(26日3:57発生震度3)により花山ダム(補助)1ダムを点検(異常なし)。
- 余震(26日23:34発生震度3)により花山ダム(補助)、小田ダム(補助)2次点検完了(異常なし)
- 余震(27日14:38発生震度3)により花山ダム(補助)1次点検完了(異常なし)
- 余震(27日16:23発生震度3)により鳴子ダム(直轄)1次・2次点検完了(異常なし)
- 余震(27日22:57発生震度3)により鳴子ダム(直轄)1次・2次点検完了(異常なし)、花山ダム(補助)1次点検完了(異常なし)、小田ダム(補助)1次・2次点検完了(異常なし)
- 余震(28日9:50発生震度3)により花山ダム(補助)1次点検完了(異常なし)
- 余震(8日3:45発生震度2)により花山ダム(補助)1次点検完了(異常なし)

※直轄管理 石淵ダム(震源地から約10km)に変状

- ・コンクリート表面遮水壁について、継ぎ目部分での損傷は見られない。
- ・フィル堤体天端部の舗装に亀裂及びびなみうちが発生。天端の高欄と舗装部の境界に開きが発生。
- ・天端舗装のなみうちの突出部のダム下流法面の表面を覆っている岩石にせり上がりが発生。せり上がり部から一部落石あり。
- ・堤体下流表面からの漏水は確認されていない。3カ所で測定している漏水量は通常よりもやや多いが異常な状況とはならない。漏水の濁りは通常の状況に戻りつつある。
- ・6月15日 7:00より専門家が現地確認評価済。「現時点ではダムの安全性に大きな問題なし」
- ・雨水浸透対策を実施。
- ・6月28日に専門家が地山の状況について確認。「右岸地山に小規模な表層崩落が見られるが、ダム本体及び貯水池に影響はない。念のため地盤伸縮計を設置のこと」と評価を得た。

※直轄管理 鳴子ダムでかんがい用利水放流管に亀裂漏水発生。

- ・6月16日から本復旧工事を開始し18日に完了。

※補助ダムの下記5ダムで堤体・貯水池周辺に変状発生。

○花山ダム(宮城県)

- ・ダム貯水池上流で斜面の崩壊が発生し、河道閉塞(天然ダム)が発生しているため、県が貯水位低下操作を実施中(6/15 20:00～)。
- ・7/12 4:50から7:40の間に70m<sup>3</sup>/sをピークに合計約37万m<sup>3</sup>が流入。(影響なし)

○荒砥沢ダム(宮城県)

- ・貯水池上流で斜面崩壊発生。斜面崩壊で水位上昇約2.4m(約144万m<sup>3</sup>)
- ・貯水位低下操作を実施中(6/14 20:00～)
- ・天端、上下流面に目立った損傷がないこと、漏水量は地震後一時的に上昇したが、現在は減少傾向に転じていることを確認。
- ・6月16日に専門家が現地確認評価済。「現時点ではダムの安全性に大きな問題なし」
- ・6月23日 23:40から6月24日0:50の間に約100m<sup>3</sup>/sをピークに合計約14万m<sup>3</sup>が流入。(影響なし)

○小田ダム(宮城県)

- ・天端の縁石が一部損傷した。
- ・漏水量が地震後一時的に上昇したが、現在は減少傾向に転じている。
- ・6月16日に専門家が現地確認評価済。「現時点ではダムの安全性に大きな問題なし」

○上大沢ダム(宮城県)

- ・天端に軽微なクラックが見られる。
- ・地震後の漏水量の上昇は収まっている。
- ・6月15日に専門家が現地確認評価済。「現時点ではダムの安全性に大きな問題なし」

○皆瀬ダム(秋田県)

- ・漏水量が地震後一時的に若干上昇したが、その後は地震前の量に戻っている。
- ・天端において洪水吐との接部に段差が発生したが、舗装面にクラックは確認されず、上流側の貯水位以上の遮水壁には特に変状は見られなかった。
- ・6月15日に専門家が現地確認評価済。「現時点ではダムの安全性に大きな問題なし」

※利水ダムは下記5ダムにおいて堤体・貯水池周辺に変状が発生。

- 衣川1号ダムでクラック発生。天端肩が傾斜(貯水池側)。周辺地山の崩落有り。  
クラックについて応急対策を実施。今後復旧工事を実施予定。
- 衣川5号ダムで堤体天端右岸側にクラック(延長約10m、幅約5cm)発生。  
直接堤体本体への影響はないと判断。
- 菅生ダムで管理用道路(側道)のクラック(延長約10m、幅約3cm)発生。余水吐のモルタルが剥離。  
管理用道路については通行に支障がないため後日補修材充填により補修予定。
- 宿の沢ダムで取水トンネルへの連絡橋の橋台から漏水有り。  
漏水量はごく少量であり、今後モルタル等を充填する予定。
- 栗駒ダムで貯水池上流左岸で斜面崩壊有り。
  - ・目標貯水池水位まで低下済みで現在水位維持中
  - ・ダム下流での土砂崩れが発生しているがダム放流による影響はない。
  - ・ダム本体に被害は発生していない。
  - ・6/21 0:20から1:20の間に100m<sup>3</sup>/sをピークに合計約37万m<sup>3</sup>が流入。(影響なし)
  - ・7/12 0:40から2:40の間に140m<sup>3</sup>/sをピークに合計約50万m<sup>3</sup>が流入。(影響なし)

○土砂災害(平成21年5月12日13:00現在)

岩手県・宮城県において多くの土砂災害が発生

岩手・宮城県境の栗駒山周辺において15箇所の河道閉塞(天然ダム)を確認

河道閉塞(天然ダム)が確認されている河川

迫川(花山ダム(宮城県)上流) 7箇所

二迫川(荒砥沢ダム(宮城県)貯水池内) 1箇所

三迫川(栗駒ダム(宮城県)上流) 2箇所

磐井川 5箇所

6月17日より岩手・宮城両県知事からの要請をうけ、

決壊や氾濫のおそれが特に高い河道埋塞(天然ダム) 迫川2地区2箇所、磐井川1地区1箇所の3地区3箇所について直轄砂防災害関連緊急事業による対策工事を実施。

6月17日より、磐井川沿川及び迫川沿川地域に監視カメラやセンサ等を設置。

今後、河道閉塞(天然ダム)や崩壊箇所の監視体制の整備を順次進めていく予定。

6月21日より追加で迫川1地区1箇所、三迫川1地区2箇所、磐井川1地区1箇所の3地区4箇所において直轄砂防災害関連緊急事業による対策工事に着手。

6月21日 三迫川の天然ダムの内、1箇所(沼倉裏沢地区)が一部流出(被害無し)。

これを受け、同日、国土交通省の防災ヘリにて、国土技術政策総合研究所の砂防専門家がダム上流域における現地の状況を確認。その結果、河道閉塞(天然ダム)を越流しており、天端一部の侵食拡大が見られたが、侵食により滞筋ができており、水位は前後に比較して低下しているため、現状において、安全度は高くなったと推測される。

6月21日12:30より磐井川の市野々原地区では仮排水路からの排水を実施。

迫川では25日午後より浅布地区、27日午後より小川原地区において仮排水路からの排水を実施。

6月24日より追加で迫川の1地区1箇所について直轄砂防災害関連緊急事業を実施、対策工事箇所は計7地区8箇所。

6月24日午前0時10分に、荒砥沢ダムの水位が上昇したとの報告が宮城県よりあり。ピーク時の水位上昇は約0.25mで、その後低下した。ダム下流における人的・物的被害は確認されなかったが、これをうけ、国土技術政策総合研究所の砂防専門家が荒砥沢ダム上流を国土交通省の防災ヘリにて確認した。確認の結果、荒砥沢ダム上流の大規模地すべり地の上流右岸側(南側)の支川の約1.5km上流に小規模な河道閉塞(天然ダム)箇所水が越流した形跡がみられ、これが異常流入の原因と推測。ただし、この支川は大規模地すべりとは接しておらず、地すべり土壌の安定性への影響はなく、また、今回程度の現象の規模は荒砥沢ダムの貯水池規模に対して問題とはならず、ダム本体への影響は少ないとされた。

6月28日、国・県等が実施している緊急対策に引き続き、今後実施すべき対策について、効果的・効率的に進められるよう専門家からなる委員会を組織し、技術的助言を得ることを目的とした「岩手・宮城内陸地震に係る土砂災害対策技術検討委員会」(委員長:平山健一岩手大学名誉教授・前学長)が開催された。

7月5日9:00より迫川の湯ノ倉地区でポンプによる排水を実施。  
また同日13:00磐井川の市野々原地区で、通水断面の拡大作業完了。

7月6日 湯浜地区の河道閉塞(天然ダム)では、湛水状況を(独)土木研究所の砂防専門家が調査に入り、次の①～④のとおり報告。

①天然ダムを形成している土砂に浸透するとともに越流が始まっていることを確認。また、越流した水は、本体外下流左岸側の小規模な湛水池に貯留されており、下流まで到達しておらず、越流部の浸食も今のところ起きていないことを確認。

②今後、この小規模な湛水池が満水し、流出することは考えられるが、湛水池の規模が小さく、湯ノ倉の空き容量を考慮すれば、湛水池の天端が一部浸食され、湛水が流出したとしても下流に影響が及ぶことは考えにくい。

③河道閉塞(天然ダム)を形成する土砂の右岸側斜面は大きな岩で覆われているが、越流が始まっている左岸側斜面は、大きな岩とともに砂質土砂で構成されており、越流水が下流側斜面を流下する場合には、浸食が進み、6月20日に三迫川上流の沼倉裏沢で発生したような急な泥水の流出は発生する可能性がある。

④越流量は、浸透・越流量より流入流量が多いことから、当該河道閉塞(天然ダム)への流入流量と同程度となるまで増えると考えられる。現在の流入量は不明であるが、湛水位の上昇が続いているため、今後、越流量は増大する可能性がある。今後注意深い監視が必要である。

7月7日湯ノ倉地区の河道閉塞(天然ダム)では、7:00頃注意水位(越水する危険があると思われる水位マイナス1m)に到達。その後はポンプ排水の効果により順調に水位は下がり、7月8日2時頃注意水位を下回った。

7月9日より追加で迫川の1地区1箇所(湯浜地区)について直轄砂防災害関連緊急事業を実施、対策工事箇所は計8地区9箇所。

7月11日 岩手県内1箇所、宮城県内2箇所において災害関連緊急砂防事業、宮城県内1箇所において地域防災がけ崩れ対策事業を採択。(いずれも補助事業)

7月12日、湯ノ倉温泉地区の河道閉塞(天然ダム)の越流について

・7月12日 湯ノ倉温泉地区の河道閉塞(天然ダム)においては、11日夜から12日朝にかけての降雨により、水位が上昇し、12日の9時15分に越流していることを確認。

・12日午前中に土木研究所の専門チーム及び東北地方整備局担当官がヘリにより上空から目視で確認した調査によれば、越流により下流側で砂や泥の侵食が少し見られたが、岩や巨礫は動いておらず、河道閉塞(天然ダム)が急激に安定を失って決壊するなどの可能性は低いと考えられた。引き続き監視・観測を継続するとして。現在のところ、人的及び物的な被害は発生していない。

・14日9時現在、湯ノ倉温泉地区においてはポンプによる排水を実施中であり、今後も下流側の行方不明者の捜索活動等と調整を図りながら継続する。

・国土交通省では、ポンプ排水を引き続き実施するほか、対策工事の準備を進めているところ。また、水位観測等の監視・観測も継続し、下流側の対策工事関係者及び栗原市等関係機関等に対し情報提供するとともに、異常が見られた場合の通報や注意喚起を行っているところ。

[7月11日(金)21時～12日(土)4時で、湯浜雨量観測所では、累加雨量28mm、時間最大8mmの雨量を観測  
7月11日(金)21時～12日(土)4時で、栗駒山雨量観測所では、累加雨量71mm、時間最大41mm(24時)の雨量を観測。また、迫川の国土交通省が設置したワイヤーセンサーが3基切断(12日2:40～3:00)]

7月25日、湯ノ倉温泉地区の河道閉塞(天然ダム)の越流について

- ・7月25日 湯ノ倉温泉地区の河道閉塞(天然ダム)においては、21日夕方から23日にかけての降雨により、水位が上昇し、25日の8時40分に現地で監視員が越流していることを確認。
  - ・越流による河道閉塞(天然ダム)の変化確認については砂防専門家によりヘリ調査を行い、大きな変化がないことを現地で説明。また、今回の越流により部分的な侵食を受けたことから、土木研究所及び国土技術政策総合研究所の専門家による現地確認を実施。
  - ・国土交通省では、ポンプ排水を引き続き実施するほか、対策工事を進めているところ。また、水位観測等の監視・観測も継続し、下流側の対策工事関係者及び栗原市等関係機関等に対し情報提供するとともに、異常が見られた場合の通報や注意喚起を行っているところ。現在のところ河道閉塞(天然ダム)の下流地域では浸水等の被害報告は確認されていない。
  - ・重機のための工事中通路として盛り土していた箇所が今回の越流で約1m程度侵食を受けている。現在、この越流箇所では侵食はほとんど止まっており、26日1時には危険水位を下回った。
  - ・その後水位は順調に低下。
- [7月21日(月)18時～25日(金)8時で、湯浜雨量観測所では、累加雨量82mm、時間最大13mmの雨量を観測]

8月19日、湯ノ倉温泉地区の河道閉塞(天然ダム)の越流について

- ・8月19日 湯ノ倉温泉地区の河道閉塞(天然ダム)においては、19日3時から11時にかけての降雨により、水位が上昇し、19日13時30分に越流を確認。その後水位は低下し、20日1時には危険水位を下回った。
  - ・東北地方整備局がヘリ調査を実施、越流による大きな侵食は認められない。
- [8月19日(火)3時～11時で、湯浜雨量観測所では、累加雨量54mm、時間最大20mmの雨量を観測]

8月24日、湯ノ倉温泉地区の河道閉塞(天然ダム)の越流について

- ・8月24日 湯ノ倉温泉地区の河道閉塞(天然ダム)においては、23日15時から26日1時にかけての降雨により、水位が上昇し、24日16時に天然ダム天端水位を上回る。その後17時30分に水位はピークとなり、その後は徐々に低下し、26日7時には危険水位を下回った。
  - ・東北地方整備局がヘリ調査を実施、越流により仮排水管布設箇所下流部が侵食された。
- [8月23日(土)15時～26日1時で、湯浜雨量観測所では、累加雨量112mm、時間最大6mmの雨量を観測]

10月24日、湯ノ倉温泉地区の河道閉塞(天然ダム)の越流について

- ・10月24日 湯ノ倉温泉地区の河道閉塞(天然ダム)においては、24日2時から20時にかけての降雨により、水位が上昇し、24日13時30分に越流を確認。堆積土塊が侵食され、17時頃貯まっていた水約30万m<sup>3</sup>が短時間に流下。侵食の規模は、幅40m、深さ15m、長さ250m。流出土砂量は約10万m<sup>3</sup>。
  - ・25日、国総研、土研、本省砂防部の専門家がヘリ及び地上から現地調査を実施。調査結果は以下の通り。
    - ①侵食後の河道は、縦断勾配が3～5°程度(目視)で安定化。但し、湛水深は14m程度残っており、今後も侵食が進行する可能性がある。
    - ②今後の出水で側方侵食が進行した場合、再度崩壊が生じる可能性がある。特に左岸側の崩壊土脚部の安定化が必要。
    - ③水位が10m程度低下したことにより、閉塞土塊が地すべりの的に決壊する可能性は低下。
    - ④流出した土砂は、温湯地区の砂防えん堤までで殆ど補足。
    - ⑤湯浜地区は、滞筋の侵食が進行したが、直ちに危険な状態ではない。今後、閉塞土塊のポリウムが減少していった場合、今回と同様な現象が発生する可能性がある。
- [10月24日(金)1時～19時で、湯浜雨量観測所では、累加雨量106mm、時間最大12mmの雨量を観測]

10月24日の降雨により、湯ノ倉温泉地区等において土砂浸食等が発生し応急対策を実施。

11月20日に10月24日降雨に対する湯ノ倉温泉地区等の応急対策が完了。

土砂災害による人的被害 死者10名 行方不明者8名

死者:宮城県栗原市 湯浜温泉1名 駒ノ湯温泉5名 花山地区3名 福島県いわき市1名

行方不明者:宮城県栗原市 駒ノ湯温泉 2名

土砂災害に巻き込まれたおそれのある行方不明者:

宮城県栗原市 花山地区 白糸の滝 2名

栗駒地区 行者の滝 1名

栗駒公園線柳沢線入口付近 1名

秋田県湯沢市 2名

災害件数48件

土石流29件、地すべり4件、がけ崩れ15件（県からの報告のあったもの）

岩手県 土石流12件（一関市9件、奥州市3件）

地すべり2件（一関市2件）

がけ崩れ5件（一関市1件、奥州市4件）

宮城県 土石流17件（栗原市14件 駒ノ湯温泉 死者5名 行方不明2名、大崎市3件）

地すべり2件（栗原市1件、大崎市1件）

がけ崩れ8件（栗原市5件、大崎市3件）

秋田県 がけ崩れ1件（湯沢市1件）

福島県 がけ崩れ1件（いわき市 死者1名）

#### ・土砂災害危険箇所の緊急点検

今後も余震や、梅雨期の降雨等により新たにがけ崩れ等の土砂災害発生の危険性が高いことから、

2次災害防止に役立てることを目的として、早急に人命等に影響を及ぼすおそれのある

土砂災害危険箇所等の点検を実施

#### ＜砂防部局による支援＞ 土砂災害危険箇所点検緊急支援チーム派遣

岩手県・宮城県からの要請に基づき、国土交通省河川局砂防部、国総研、北海道開発局、東北・関東・北陸・中部各地方整備局、土木研究所、青森県、秋田県、山形県、福島県、栃木県、群馬県、新潟県等よりなる、約130名33班体制の「土砂災害危険箇所点検緊急支援チーム」を派遣し、土砂災害危険箇所等の点検実施（15日～19日）。

点検結果について、岩手県・宮城県及び両県を通じて当該市町に連絡し、必要な応急対策の助言を行った  
なお、岩手県のチームには砂防ボランティア10名も参加

#### ＜点検結果＞

・点検を実施した箇所 2771箇所（うち、緊急点検で新たに確認された危険箇所32箇所）

早急に応急対策が必要な箇所 20箇所（うち、緊急点検で新たに確認された危険箇所5箇所）

二次点検後対策を決定する箇所 112箇所（うち、緊急点検で新たに確認された危険箇所14箇所）

緊急性が低い箇所 2639箇所（うち、緊急点検で新たに確認された危険箇所13箇所）

TEC-FORCEとして砂防担当補佐および国総研主任研究官等5名を派遣

6月15日より、磐井川における河道閉塞箇所等の現地調査を実施

・14日以降、砂防担当官が搭乗し、ヘリコプターによる調査を実施

#### ・施設点検状況

東北地整 直轄砂防事務所（岩手、湯沢、新庄、福島）

14日中点検完了 被害無し

青森県 14日中点検完了 被害無し

岩手県 被害が甚大な磐井川流域を除いては14日中点検完了被害無し

秋田県 15日中点検完了 被害無し

宮城県 被害が甚大な栗原地区以外は14日中点検完了 被害無し

山形県 14日中点検完了 被害無し

福島県 14日中点検完了 被害無し

栃木県 14日中点検完了 被害無し

茨城県 14日中点検完了 被害無し

・土砂災害警戒情報の発表基準雨量の引き下げ

平成20年6月15日10時より、岩手県、宮城県、秋田県では、地震によって地盤が緩み、雨による土砂災害の危険性が通常よりも高いと考えられる震度5強以上を観測した市町村について、気象台と共同で発表している土砂災害警戒情報の発表基準雨量を通常基準よりも引き下げた暫定基準を設けて運用。

(暫定基準の変更・廃止について)

平成21年5月12日13時より、岩手県、秋田県では、次の市町村の暫定基準を廃止し、地震発生以前の基準に戻した。

・岩手県：奥州市、野田村、一関市、遠野市、北上市、八幡平市、久慈市、宮古市、釜石市、大船渡市、二戸市、軽米町、一戸町、金ヶ崎町、平泉町、洋野町、普代村、山田町、大槌町

・秋田県：湯沢市、東成瀬村

平成21年5月12日13時より、宮城県では、以下の通り変更した。

・通常基準の6割で運用を継続する市町村・・・栗原市(西部)

・通常基準の6割から8割へ引き上げて運用する市町村・・・栗原市(東部)、大崎市(西部)

・暫定基準を廃止し、地震発生前の基準に戻す市町村・・・大崎市(東部)、登米市、加美町、涌谷町、美里町、利府町、仙台市(東部)、名取市、気仙沼市、石巻市

○海岸(平成20年7月22日14:30時点)

・直轄海岸：

・宮城県(仙台湾南部海岸) 10:05点検開始 11:38点検完了 異常なし

・補助海岸

・青森県 9:00点検開始 14:20点検完了 異常なし

・岩手県 9:00点検開始 15:15点検完了 異常なし

・宮城県 9:00点検開始 16:30点検完了 異常なし

・秋田県 10:00点検開始 15:30点検完了 異常なし

・山形県 9:00点検開始 10:30点検完了 異常なし

・福島県 9:00点検開始 14:30点検完了 異常なし

・新潟県 9:45点検開始 11:05点検完了 異常なし

・警城海岸(福島県いわき市)でがけ崩れ。釣りに来ていた男性が1名死亡。

○道路(平成21年5月22日17:00現在)

高速、有料道路、直轄国道

全線通行可能(通行止め、通行規制無し)

県管理道路

県管理道路 7区間において全面通行止め

県名	路線名	規制区間	規制理由	備考
宮城	(主) 栗駒衣川線	くりはらし、くりこま、ぬまくらたまやま 栗原市栗駒沼倉玉山～岩手県境	土砂崩落	・復旧工事に向け準備中
岩手	(主) はなまきころもがわ 花巻衣川線	おうしゅうし、ころもがわ、おおだいら 奥州市衣川区大平	法面崩壊	・復旧工事に向け準備中

秋田 ・ 岩手	国道342号	ひがしなるせむらひやまだい 秋田県東成瀬村松山台 いちのせきしげんびらよう ～岩手県一関市巖美町（矢びつダム付 近）	土砂崩落・落 橋 ・路面亀裂	【秋田県】 ・一般車通行可 (昼間 片側交互通行可) ・大規模被災箇所を除き概ね 本復旧完了 ・4/28開通(冬期通行止め解 除)  【岩手県】 ・巖美町板川～槻木平間は、 終日片側交互通行にて一般車 両の通行可 ・巖美町真湯～秋田県境間は 通行止め ・落橋した祭時大橋について は、約150m北側に架設予 定。(迂回路確保のための仮 橋架設完了、H20.11.30開通) ・須川～真湯については、原形 復旧を基本に工事を推進。(現 在は工事用進入路確保済み) ・本復旧については、平成22 年度目標
宮城 ・ 秋田	国道398号	くりはらし はなやま 宮城県栗原市花山 ゆざわし みなせ おおゆ ～秋田県湯沢市皆瀬大湯	法面崩壊・ 路面崩壊	【秋田県】 ・湯沢市皆瀬大湯～栗駒神水 まで一般車通行可(昼間 片側 交互通行可) ・本復旧概ね完了 ・4/24秋田県側交通解放(冬期 通行止め解除)  【宮城県】 ・国道398沿いの5地区(栗原 市金沢・中村・浅布・温湯温泉・ 湯浜温泉地区)へは、すべて緊 急車両の通行が可能 ・松ノ原～小川原地区につい ては、現在片側通行、H21年6 月末の本復旧を目標。 ・温湯～県境については、H21 年9月末を目標に本復旧工事 を推進中。
宮城	(主) つきだてくりこまこうえん 築館栗駒公園線	くりはらし くりこま めまくらたまやま 栗原市栗駒沼倉玉山 くりはらし くりこまいわかがみだいら ～栗原市栗駒岩鏡平	大規模崩落	・復旧工事中 ・迂回路(市道馬場駒の湯線) については、H20.12.24完成
宮城	(一) めまくらなるこ 沼倉鳴子線	おおさきしなるこおんせん おにこうべ 大崎市鳴子温泉鬼首	路面段差	・復旧工事に向け準備中
宮城	(一) がにゆういちはさま 岩入一迫線	くりはらし はなやまくさきさわ 栗原市花山草木沢 おおさきし なるこおんせん おにこうべ ～大崎市鳴子温泉鬼首	路面段差 ・落石	・復旧工事中

※東北地方整備局のホームページ(<http://www.thr.mlit.go.jp/>)において、道路通行規制状況図を公開中

## 地方公共団体への支援

### 【TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)】

#### ① 祭時(まつるべ)大橋(落橋)の調査

- ・ 本省1名、国総研2名、土研2名が平成20年6月15日から現地調査。
- ・ 6月18日、本来管理者である岩手県に現地調査結果を報告。

#### ② 地方公共団体への技術支援

- ・ 通行止めの災害発生状況等を確認するため、6月15日、東北地方整備局の現地調査隊(3班13名)を国道398号等に派遣。その後もヘリコプターによる現地調査等を実施。また、情報収集のため、宮城県庁、岩手県庁、栗原市、一関市、奥州市に職員を派遣中(6月14日から現在まで延べ170名)。
- ・ 地方公共団体(宮城県、宮城県栗原市、岩手県一関市)からの要請を受け、被害状況の調査や復旧方法等に関する技術的支援を行うため、東北地方整備局及び近隣地方整備局(関東、北陸)の職員等(6月16・17日:17班87名)を6月16日より現地に派遣。引き続き、第2次調査隊として、東北地方整備局の職員等(6月18・19日:5班65名)を現地に派遣。
- ・ 岩手県からの要請を受け、国道342号について被災状況等を把握する調査を行うため、第3次調査隊として、東北地方整備局の職員等を現地に派遣(6月18日:1班5名、6月19日:2班14名)。さらに、国道342号の被災箇所の復旧支援(橋梁等に関する技術支援)のため、第4次調査隊として、東北地方整備局の職員(6月19～21日:1班3名)を現地に派遣。
- ・ 6月20日午後、第1次～第3次調査隊の調査結果を、関係機関に報告。

### 【資機材】

東北、関東、北陸の各地方整備局から出動

#### ① 国道342号岩手県一関市

- ・ 矢びつダム上流の迂回路整備箇所、応急組立橋の活用(市野々原地区)。

### ○緊急輸送(平成20年7月30日 11:30現在)

- ・ 6月14日東北運輸局は岩手県トラック協会、宮城県トラック協会に対し、県等から緊急物資輸送関連の要請があった場合には、速やかに対応できるよう指示した。
- ・ 6月18日宮城県から、宮城県トラック協会に対し緊急物資輸送の要請があり、仮設トイレ4基、水200Lを栗原市花山総合支所へトラック1台で輸送。6月19日簡易トイレ50箱を宮城県栗原合同庁舎へトラック1台で輸送。
- ・ 6月23日岩手県一関市から岩手県トラック協会に対し緊急物資輸送の要請があり、6月25日避難住民の生活用品10世帯分を旧 山谷小学校(一関市巖美町山谷)へトラック2台で輸送。

### ○鉄道(平成20年7月30日 11:30現在)

事業者名	線名	運転中止区間	運転中止		運転再開		主な被害状況等
			日	時間	日	時間	
	東北新幹線	東京～仙台	14	8:44	14	13:30	被害なし
		仙台～八戸	14	8:44	15	6:07 (始発)	架線切断→復旧
	秋田新幹線	盛岡～秋田	14	8:44	15	6:02 (始発)	被害なし
	山形新幹線	福島～新庄	14	8:44	14	13:30	被害なし
	東北本線	盛岡～石越	14	8:44	14	16:00	被害なし
		石越～東白石	14	8:44	14	18:18	被害なし
	常磐線	原ノ町～岩沼	14	8:44	14	17:00	被害なし

JR東日本	仙石線	あおば通～石巻	14	8:44	14	15:45	被害なし
	仙山線	仙台～陸前白沢	14	8:44	14	15:00	被害なし
	石巻線	小牛田～女川	14	8:44	14	17:15	被害なし
	陸羽東線	新庄～古川	14	8:44	15	5:39 (始発)	上野目駅でホーム縁石のズレ→復旧
		古川～小牛田	14	8:44	14	18:30	被害なし
	気仙沼線	前谷地～陸前豊里	14	8:44	14	17:15	被害なし
	奥羽本線	及位～横手	14	8:44	14	12:55	被害なし
	羽越本線	吹浦～二古信	14	8:44	14	13:49	被害なし
	北上線	北上～横手	14	8:44	14	16:00	被害なし
	釜石線	花巻～釜石	14	8:44	14	15:40	被害なし
	山田線	津軽石～釜石	14	8:44	14	15:30	被害なし
	大船渡線	一ノ関～盛	14	8:44	14	15:30	被害なし
三陸鉄道	南リアス線	全線	14	8:44	14	13:55	被害なし
仙台市	南北線	全線	14	8:44	14	12:10	被害なし
IGRいわて銀河鉄道	いわて銀河鉄道線	盛岡～厨川	14	8:44	14	10:18	被害なし
仙台空港鉄道	仙台空港線	名取～空港	14	8:44	14	18:00	架線損傷→復旧
阿武隈急行	阿武隈急行線	福島～富野	14	8:44	14	12:08	被害なし
		富野～槻木	14	8:44	14	17:16	被害なし

※JR貨物

- JR貨物 28往復の運休(14日、15、16日の合計)
- 運転再開済み

○バスの運休状況等(平成20年7月30日11:30現在)

・仙台空港行き貸切バスが走行中にバウンドし怪我人発生。

乗客24名、運転手1名、添乗員1名の計26名が乗車。うち2名が骨折し、

仙台市内の病院に入院。22名が軽傷、うち3名が病院へ搬送された。

(乗客日本生命石巻支社の社員旅行<7:50石巻→9:00仙台空港→大阪>)。

事故発生場所は仙台東部道路の「新名取川橋」上。

・岩手県胆沢地区の石淵ダムの近くで乗客19名及び運転者の合計20名が乗車する貸切バス(事業者名:(有)胆沢交通)が被害に遭い、奥州市内の高校等にヘリコプターにより搬送され、負傷者9名のうち軽傷2名を除く7名が病院へ移送された(うち重傷4名)。

・岩手県栗駒山の国道342号線にて土砂崩れが発生したため、

貸切バス(事業者名:まえばし芳賀バス観光(有))が立ち往生。

乗客は31名、運転手1名、添乗員2名の計34名が乗車し、ヘリにて救助された。負傷者は無し。

・岩手県矢櫃ダム付近で路線バス(岩手県交通(株))が孤立。乗客6名、運転手1名の計7名はヘリにて救助された。負傷者は無し。

・6月14日高速バスは宮城交通(株)等10事業者31系統が運休。

・6月15日高速バスは全線運行を再開。

○自動車検査検査場等の被害状況(平成20年7月30日11:30現在)

- ・東北運輸局管内の自動車検査場の被害無し。
  - ・MOTAS(自動車登録検査業務電子情報処理システム)・OSS(自動車保有関係手続のワンストップサービス)機器について、機器及び回線とも被害無し。
  - ・自動車検査証の有効期間の伸長については、現段階の情報では伸長しなければならないほどの事態には至っていない。
- 6月17日自動車の車検等に関する相談窓口を設置した。

○空港(平成20年7月30日11:30現在)

青森、三沢、花巻、福島、仙台、大館能代、秋田、庄内、山形の各空港における滑走路、その他施設について異常なし、人的被害なし  
現在、各空港とも通常運用中。

○港湾関係(平成20年7月30日11:30現在)

・港湾施設

直轄施設

八戸港、釜石港、久慈港、宮古港、大船渡港、仙台塩釜港、石巻港、秋田港、能代港、酒田港、小名浜港、相馬港について点検の結果、異常なし

補助施設

青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、新潟県の各港について点検の結果、異常なし

・海岸保全施設(港湾)

青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、新潟港の各港海岸保全施設について点検の結果、異常なし

○海上交通の状況等(平成20年7月30日11:30現在)

1) 施設の被害状況

- ・被害情報なし。

2) 運休状況

- ・14日から16日まで北上川周遊航路(シーフレンド(株)、宮城県石巻市、不定期航路)は、余震の影響を考慮して運休。17日から運行再開。
- ・その他は運休情報なし。

3) その他

- ・6月17日海技免状及び小型船舶操縦免許証に関する相談窓口の設置
- ・6月20日海技免状等の申請手続の特例措置を設けた

○住宅・建築物(平成20年7月30日11:30時点)

1) 応急危険度判定について

- ・岩手県及び宮城県に対し、被害状況の把握と応急危険度判定の実施準備を指示するとともに、東北地方整備局に対し両県を支援するよう指示。
- ・6月20日までに、延べ578人の判定士により、4043件の応急危険度判定を実施。

		危険(赤)	要注意(黄)	調査済(緑)	計	延べ班	延べ人員
岩手県	合計	54件	273件	834件	1161件	72班	149人
奥州市	合計	45件	249件	812件	1106件	66班	136人
	6月16日	5件	17件	11件	33件	2班	6人
	6月17日	0件	16件	18件	34件	2班	4人
	6月18日	3件	20件	151件	174件	9班	18人
	6月19日	5件	57件	184件	246件	15班	31人
	6月20日	32件	139件	448件	619件	38班	77人
西和賀町	6月16日	0件	2件	0件	2件	1班	3人
一関市	合計	9件	22件	22件	53件	5班	10人
	6月17日	8件	18件	20件	46件	3班	6人
	6月19日	1件	4件	2件	7件	2班	4人
宮城県	合計	191件	518件	2173件	2882件	179班	429人
栗原市	合計	190件	517件	2173件	2880件	178班	427人
	6月14日	3件	3件	14件	20件	5班	15人
	6月15日	60件	154件	685件	899件	47班	116人
	6月16日	49件	201件	944件	1194件	60班	132人
	6月17日	78件	159件	530件	767件	66班	164人
美里町	6月14日	1件	1件	0件	2件	1班	2人
合	計	245件	791件	3007件	4043件	251班	578人

2) 被災状況について

- ・岩手県及び宮城県内に対し、公営住宅等の被災状況について報告するよう指示。
- ・岩手県にある公営住宅等に被害なし。
- ・宮城県において、栗原市及び大崎市にある公営住宅等のうち19団地において、瓦破損等の被害あり。
- ・仙台市内の都市再生機構住宅(全16団地)には特段の被害なし。
- ・建築物の被害調査のため、本省住宅局建築安全調査室長、国土技術政策総合研究所主任研究官及び建築研究所上席研究員計3名を派遣し、6月15日に栗原市及び大崎市内の建築物について調査を実施。

3) 被災者支援について

- ・岩手県、宮城県及び都市再生機構に対し、公営住宅等の空き室状況を報告するよう指示。
- ・公営住宅等の提供可能な空家は以下のとおり。(H20.7.28時点)

	県営	市町村営	公社	都市再生機構	計
岩手県	56戸	92戸	0戸	0戸	148戸
宮城県	73戸	73戸	17戸	99戸	262戸
計	129戸	165戸	17戸	99戸	410戸

- ・被災者の入居状況は、一関市(市営住宅)で3戸。(H21.5.28時点)
- ・応急仮設住宅について、(社)プレハブ建築協会に対し、県から要請があり次第、速やかに対応できるよう準備を指示。
- ・宮城県及び岩手県から(社)プレハブ建築協会に対する応急仮設住宅の建設要請については、以下のとおり。

宮城県栗原市	第1次	第2次	第3次	計
要請日	6月20日	6月25日	7月7日	—
建設戸数	10戸	37戸	18戸	65戸
着工日	6月23日	6月27日	7月11日	—
完成日	7月10日	7月16日 (うち1戸は7月29日)	7月29日	—
入居日	7月11日	7月17日 (うち1戸は7月29日)	7月29日	—

(内訳)

地区名	建設地名	建設戸数
花山地区	湖畔の里高齢者生活福祉センター東側宅地内	17戸
	花山二反田百目木公園駐車場内	10戸
	要害キャンプ場の駐車場	16戸
一迫地区	一迫高齢者ふれあいプラザ敷地内	1戸
	清水二農業後継者育成センター敷地内	1戸
栗駒地区	旧栗駒町役場庁舎後ろ宅地内	20戸

岩手県奥州市	第1次	計
要請日	7月7日	—
建設戸数	8戸	8戸
着工日	7月11日	—
完成日	7月31日	—
入居日	8月1日	—

(内訳)

地区名	建設地名	建設戸数
若柳字愛宕地区	胆沢区若柳字愛宕488番地1	4戸
石生地区	衣川区石生74番地1	4戸

・6月16日より宮城県庁内及び県出先機関(北部地方振興事務所栗原地域事務所、北部地方振興事務所、東部地方振興事務所登米地域事務所)に住宅相談を含む相談窓口を設置。

・6月19日より岩手県庁内及び県出先機関等(北上総合支局、県南広域振興局、一関総合支局、けんみん住宅プラザ、けんみん住宅プラザ・みずさわ)に住宅の建替えや修繕等に対する技術的相談等に応じるための住宅相談窓口を設置。

相談窓口	相談件数
宮城県庁内(各事務所6月16日～) 北部地方振興事務所栗原地域事務所 北部地方振興事務所 東部地方振興事務所登米地域事務所	36件(7月25日現在)
岩手県庁内(各事務所6月19日～) 北上総合支局 県南広域振興局 一関総合支局 けんみん住民プラザ けんみん住民プラザ・みずさわ	52件(7月25日現在)

・住宅金融支援機構において、6月24日より本地震により被災された方に対し、災害復興住宅融資を行い、災害復興住宅融資について「親孝行ローン」を行うとともに、機構から融資を受けて現在返済中の方に対して返済負担軽減措置を講ずる(6月20日16時30分記者発表)。

#### 4)エレベーターの閉じこめについて

・エレベーターの閉じこめについて、(社)日本エレベーター協会を通じて調査を指示。

・これまでのところ、18台(岩手県2台、宮城県10台、秋田県1台、山形県2台、東京都3台)閉じこめが発生し、すべて救出済みとの報告。

○公園(平成21年5月25日現在)

[国営公園]

・国営みちのく杜の湖畔公園は異常なし

6月14日8:50 点検開始 6月14日 9:30 点検完了

[都市公園等]

都道府県	所在地名	施設名	被害状況等	対応状況等
岩手県	奥州市	水沢公園	石塀崩落	本復旧完了
岩手県	奥州市	えさし藤原の郷	施設屋根破損	本復旧完了
宮城県	仙台市	大年寺山公園	施設内壁崩落	本復旧完了
宮城県	栗原市	栗駒館山公園	園路損傷	本復旧完了

○下水道(平成21年5月25日現在)

都道府県	所在地名	施設名	被害状況等	対応状況等
岩手県	奥州市	水沢浄化センター	汚泥処理施設が一部損傷	・本復旧完了
岩手県	奥州市	公共下水道管きよ	管きよのたわみ、蛇行等(約120m)	・本復旧完了
岩手県	一関市	公共下水道管きよ	管きよのたわみ、蛇行等(約150m)	・本復旧完了
宮城県	栗原市	鶯沢浄化センター	処理場内の配管ゆがみ等	・本復旧完了
宮城県	栗原市等	流域下水道管きよ	マンホール内の破損、亀裂等(139箇所)	・本復旧完了
宮城県	栗原市	公共下水道管きよ	マンホール内の破損、亀裂等(206箇所) 管きよのたわみ、蛇行等(約2,600m)	・下水の流下に支障なし ・本復旧中

○宅地(平成21年1月19日現在)

・岩手県

- 1) 西和賀町において、18日2名の判定士が被災宅地危険度判定を2件実施済。
- 2) 奥州市において、19日12班24名の判定士が被災宅地危険度判定を実施。20日引き続き実施。
- 3) 20日に本省職員1名を被災状況調査のため現地に派遣。

これまでの判定結果は下記のとおり。

		赤(危険)	黄(要注意)	青(調査済)	計
西和賀町	6月18日	0件	1件	1件	2件
奥州市	6月19日	4件	20件	108件	132件
奥州市	6月20日	4件	17件	140件	161件
計		8件	38件	249件	295件

・宮城県

- 1) 栗原市において、20日17班49名の判定士が被災宅地危険度判定を実施。

これまでの判定結果は下記のとおり。

		赤(危険)	黄(要注意)	青(調査済)	計
栗原市	6月20日	31件	21件	31件	83件
計		31件	21件	31件	83件

・秋田県、山形県、福島県において特段の被害なし。

○観光関係（平成20年7月30日11:30現在）

- ・登録ホテル・旅館については特段の被害情報なし。
- ・6月17日観光における風評被害に関する相談窓口を設置した。
- ・6月18日国土交通省から社団法人日本旅行業協会に対し正確な情報提供など、観光風評被害対策について通知。
- ・6月20日岩手・宮城内陸地震対策観光関係者会議を開催した。
- ・7月17日第2回岩手・宮城内陸地震対策観光関係者会議を開催した。

○物流施設（営業倉庫）関係（平成20年7月30日11:30現在）

重大な被害の報告なし。（荷崩れ・外壁落ち等19施設（宮城県）、荷崩れ・窓ガラスの破損等5施設（岩手県））

○官庁営繕（平成20年7月28日13:00時点）

震度5弱以上の地域における管内76施設全て確認済み  
全施設について大きな被害情報なし  
震度4以上の地域にある現在工事中の現場11施設は全て被害無し

問合先:河川局防災課災害対策室 伊藤
代 表: 03-5253-8111 内線35-822
直 通: 03-5253-8461

## <別紙>緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)の活動状況 集計

○のべ班数 921 班・日

平成20年6月14日～7月22日

○のべ人員 1,499 人・日

派遣元	任務	資機材等	活動概要	派遣規模(のべ数)	
				班数(班・日)	人員(人・日)
北陸地整	先遣班及び被災状況調査班(ヘリ調査)		ヘリによる調査(14日・15日・19日・21日・23日)	5	9
関東地整	先遣班(ヘリ調査)		ヘリによる調査(14日)	1	5
中部地整	被災状況調査班(ヘリ調査)		ヘリによる調査(14日・15日・16日・17日)	4	4
東北地整	被災状況調査班(ヘリ調査)		ヘリによる調査(14日・15日・16日・17日・18日・20日・21日・24日・25日)	10	20
北海道開発局	被災状況調査班(ヘリ調査)(東北地整搭乗)		ヘリによる調査(27日)	1	2
本省・国総研等	先遣班(国土交通省緊急調査団)		地震発生直後からの現地調査(国土交通省緊急調査団)	7	81
北陸地整	応急対策班	遠隔操縦式油圧ショベル3台	道路埋塞土砂撤去・河道閉塞仮水路掘削等	62	6
関東地整	応急対策班	遠隔操縦式油圧ショベル1台	道路埋塞土砂撤去・河道閉塞仮水路掘削等	13	3
東北地整	応急対策班	照明車6台	夜間監視・夜間作業の支援	63	0
北陸地整	応急対策班	照明車5台	夜間監視・夜間作業の支援	76	0
北陸地整	応急対策班	排水ポンプ車2台	河道閉塞箇所の排水	25	0
中国地整	応急対策班	排水ポンプ車1台	河道閉塞箇所の排水	34	0
関東地整	応急対策班	照明車8台	夜間監視・夜間作業の支援	105	2
東北地整	情報通信班	衛星通信車4台	応急対策実施箇所・河道閉塞箇所等の映像配信	46	2
関東地整	情報通信班	Ku-SAT及びカメラ等	高度技術指導班(河道閉塞)と共に河道閉塞箇所調査及び映像配信等を行うための現地調査と衛星通信機器等の設置	3	6

東北地整	応急対策班	橋梁点検車3台	橋梁点検	12	0
東北地整	応急対策班	対策本部車1台	現地活動の支援	10	0
東北地整	応急対策班	待機支援車2台	現地活動の支援	22	0
東北地整	応急対策班	土のう造成機	出水時の応急対策への備え	9	0
東北地整	応急対策班	排水ポンプユニット(3基)	河道閉塞箇所の排水	14	0
気象庁	地震機動観測班		被災地域の被害及び地震動の調査	22	55
気象庁	気象・地象情報提供班		宮城県、岩手県、秋田県の災害対策本部に、気象・地象情報を提供	25	50
東北運輸	輸送支援班		岩手県及び宮城県の災害対策本部で、緊急輸送の調整	15	22
本省・国総研等	被災状況調査班(土砂災害危険箇所)		土砂災害危険箇所点検緊急支援チーム(総括)	6	18
関東地整	被災状況調査班(土砂災害危険箇所)		土砂災害危険箇所点検緊急支援チーム	18	63
北陸地整	被災状況調査班(土砂災害危険箇所)		土砂災害危険箇所点検緊急支援チーム	30	141
中部地整	被災状況調査班(土砂災害危険箇所)		土砂災害危険箇所点検緊急支援チーム	24	84
東北地整	被災状況調査班(土砂災害危険箇所)		土砂災害危険箇所点検緊急支援チーム	25	112
北海道開発局	被災状況調査班(土砂災害危険箇所)		土砂災害危険箇所点検緊急支援チーム	4	15
北陸地整	現地支援班		現地での隊員活動の支援	10	45
関東地整	被災状況調査班(道路)		道路の被害状況調査(市道、国道398号、国道342号等)	17	67
北陸地整	被災状況調査班(道路)		道路の被害状況調査(市道、国道398号、国道342号等)	18	90
東北地整	被災状況調査班(道路)		道路の被害状況調査(市道、国道398号、国道342号等)	20	76

東北 地整	被災状況調査班 (被災建築物調査)		被災建築物の危険度判定	2	8
本省	高度技術指導班 (応急復旧工法)		岩手県等の道路災害現場における 応急復旧工法等に関する技術指導	6	22
北陸 地整	高度技術指導班		河道閉塞箇所への重機分解輸送等 に関する技術指導	5	5
国土 地理院	被災状況調査班 (航空測量)		被災地域の空中写真撮影を実施	4	7
国土 地理院	地理情報支援班		災害対策用図・空中写真等の地理 情報を関係機関に提供。	11	26
国土 地理院	被災状況調査班 (現地調査)		被災地域において、現地災害状況の 調査・情報収集及び観測施設等の 現況調査を実施	42	255
本省 東北 北陸 国総研	高度技術指導班 (河道閉塞)		河道閉塞箇所の調査及び緊急対策 の立案・指導	43	93
土木 研究所	高度技術指導班 (土砂災害)		土砂災害危険箇所点検、河道閉塞 監視体制等の指導、地すべり箇所の 調査	41	70
土木 研究所	現地調査班 (道路土工)		道路被災箇所に関する道路土工調 査	3	14
土木 研究所	現地調査班 (道路斜面)		道路被災箇所に関する道路斜面調 査	3	6
土木 研究所	現地調査班 (地震断層)		地震断層の調査	3	11
東北 地整	高度技術指導班		国道342号の被災橋梁復旧技術指 導	2	4
合計				921	1,499

※人員については、オペレータ及び飛行操縦士を除く。